

「関東明教第十三号」、同期会報告

昭和三十一年卒 池田 陽一

平成元年から毎年続いた東京八起会恒例の一泊旅行は、寄る年波には勝てず平成22年で一応取り止めとなり、本年23年からは日帰り旅行になりました。幹事の森俊朗君の企画で、春三月十日「水戸偕楽園の梅まつり」日帰りバスツアーに十七名が集まりました。

好天の東京駅丸ビル前を一般客に交じって八時十分出発。偕楽園の梅は七分咲きで紅白梅ともに種類が多く、二時間たつぷり思い思

いに広い園内を散策しながら様々な梅の花を楽しみました。偕楽園の高台から見る千波湖の眺めも素晴らしかったです。午後一時過ぎ、那珂湊・ヤマサ水産で



の回転寿司昼食は、ネタが大きくボリュームたっぷりのお寿司。ちょうどお腹がすいた時間にてしかも食べ放題とあつて、みんな五つ六つと皿を重ねて満腹になるまで美味しくいただきました。食後には海産物を次々と買い求める人、次に訪ねた明太パークでさらに買い物をする人ありで、手荷物一杯・腹いっぱいバスに乗り込みました。

帰りは大きな渋滞もなく、東京駅へは予定より早く午後六時二十分に到着し、重い荷物を手に下げて、次回の会合は必ずまた参加しようと約束し、駅にて別れを惜しみました。

その翌日、三月十一日の出来事です。あの東日本大震災が発生し、地震と共に5mほどの大津波が茨城の海岸に押し寄せたことを後日の報道で知りました。

水戸偕楽園では地震により園内や建物に亀裂が走って即入園禁止。那珂湊では津波により建物一階が浸水して、回転寿司屋なども一ヶ月以上営業休止となり、ようやく再開出来たのは四月下旬になったとのこと。

災害は忘れた頃にやってくる。今回の



大地震で被災された方々には早く復興されますことをお祈りするとともに、私たちも無事であったことに感謝し、日頃から災害への備えを怠らないようにと心に誓ったことでした。